



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス
コード番号 3591 URL <http://www.wacoalholdings.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 能交

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 宮城 晃

TEL 075-682-1010

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	102,412	△3.1	7,887	△18.5	11,887	11.7	9,200	23.0
28年3月期第2四半期	105,715	9.9	9,676	15.3	10,646	5.2	7,482	14.6

(注)四半期包括利益 29年3月期第2四半期 △2,129百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 6,268百万円 (△50.5%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	65.85	65.65
28年3月期第2四半期	53.12	52.97

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	283,918	219,972	215,389	75.9	1,554.15
28年3月期	292,854	229,401	224,374	76.6	1,592.90

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	33.00	33.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	198,000	△2.4	10,500	△24.3	14,500	△3.1	11,000	△1.4	78.73	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	143,378,085 株	28年3月期	143,378,085 株
29年3月期2Q	4,788,810 株	28年3月期	2,519,350 株
29年3月期2Q	139,718,364 株	28年3月期2Q	140,839,319 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
(6) 販売の状況	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

① 当第2四半期の業績

当社グループでは、本年を初年度とした新しい中期経営計画（2016～2018年度）がスタートしました。グループ経営基盤の整備を土台に、国内事業における収益の確保、海外事業のさらなる成長、グループ内でのシナジー発揮と競争力の強化、事業ポートフォリオ拡大への挑戦という5つの基本方針に沿って、収益性と事業効率の向上を図る一方、効果的な資本政策を遂行して企業価値の向上を目指します。

これらの取り組みによる、当社グループの当第2四半期の連結業績は、売上面では、国内事業の主力会社である株式会社ワコールの直営店事業が順調に推移しましたが、百貨店や量販店を中心としたレディースインナーの卸事業が伸び悩み、前年同期を下回りました。また、海外事業につきましては、アメリカやヨーロッパの足元の需要が回復基調にあるものの、中国における売上の伸び悩みに加え、円高の影響により売上が減少しました。この結果、グループ全体の売上高は、前年同期を下回りました。利益面では、国内事業の販管費増加や在仏国子会社の更生手続関連費用の計上により、全体の営業利益は、前年同期を大きく下回りましたが、当初計画は上回りました。なお、当第1四半期に計上した固定資産（土地）の譲渡による売却益のため、税引前四半期純利益は前年同期を大きく上回りました。

●売上高	1,024億12百万円	（前年同期比	3.1%減）
●営業利益	78億87百万円	（前年同期比	18.5%減）
●税引前四半期純利益	118億87百万円	（前年同期比	11.7%増）
●当社株主に帰属する四半期純利益	92億00百万円	（前年同期比	23.0%増）

② オペレーティング・セグメントの営業概況

a. ワコール事業（国内）

国内事業においては、株式会社ワコールのワコールブランド事業本部につきましては、着け心地が快適な新機能ブラジャーが消費者の好評を得て、主力商品であるブラジャーの売上を牽引しました。しかし、高級ブランド商品の売上が落ち込んだことや、店頭在庫の調整が影響し、事業本部全体の売上は前年同期を下回りました。

ウイングブランド事業本部につきましては、春から夏にかけて展開した主力商品のブラジャーが軒並み好調だったことに加え、干支にちなんだ縁起物のショーツや夏用の肌着も好調に推移し、店頭売上は順調に推移しました。しかしながら、店頭在庫の調整が影響し、事業本部全体の売上は前年同期を下回りました。

小売事業本部につきましては、直営店「AMPHI（アンフィ）」は、既存店の客数が減少しましたが、個店別販促により客単価が上がり、売上は前年同期を上回りました。加えて他のショップブランドも順調に出店を拡大しました。また、この春から直営ショップブランドの共通商材を幅広く展開した販促策も奏功し、売上拡大及び収益改善に貢献しました。これらの結果、事業本部全体の売上は、前年同期を上回りました。

ウエルネス事業部につきましては、スポーツコンディショニングウェア「CW-X（シーダブリューエックス）」は、スポーツチェーン店やECサイトで順調に推移しました。しかしながら、アウトドア専門店の苦戦やデイリーユース向け商品の不振と併せてアメリカ向けの販売が低調に推移したため、事業部全体の売上は、前年同期を下回りました。

通信販売事業部につきましては、ウェブストアは、新サービスやECサイトの機能拡張により来訪客数が増加したことから、月別の販促策が奏功し前年同期を上回りましたが、カタログ販売は、夏号・秋号ともに苦戦しました。これらの結果、事業部全体の売上は、前年同期を下回りました。

株式会社Ai（アイ）につきましては、下着事業は、新規出店により売上が大きく拡大しましたが、主力の水着事業については、他社ECサイトでの新規展開の不振による返品増加や、季節型店舗の効率が悪化し、全体の売上は前年同期並みとなりました。

以上の結果、主力事業会社ワコールの売上減少により、ワコール事業（国内）セグメント全体の売上高は、前年同期を下回りました。利益面につきましても、株式会社ワコールにおける、退職給付費用や税制改正に伴う外形標準課税の増加、また、新京都ビル営業開始による費用の増加により、営業利益は前年同期を大きく下回りました。

●売上高	616億15百万円	(前年同期比	1.5%減)
●営業利益	47億20百万円	(前年同期比	21.1%減)

b. ワコール事業（海外）

ワコールインターナショナル（アメリカ）は、売上面では、主力のワコールブランドを中心にアメリカ国内の百貨店が堅調に推移したことで、得意先の在庫抑制の影響が解消されるとともに、自社ECサイトも好調に推移しました。これらにより全体の売上は、現地通貨ベースでは前年同期を上回りましたが、邦貨換算ベースでは前年同期を大きく下回りました。利益面では、製造費用の抑制により売上利益が改善したことや、PR費などを抑えたことにより、現地通貨ベースでは営業利益は前年同期を上回りましたが、邦貨換算ベースでは前年同期を大きく下回りました。

ワコールヨーロッパにつきましても、売上面では、英国は専門店やECサイトは好調でしたが、百貨店は苦戦しました。また、ユーロ圏は、夏以降需要が回復し堅調に推移したことに加え、ポンド安の影響により、北米やユーロ圏の売上が嵩上げされ、全体の売上は現地通貨ベース（ポンド）では前年同期を上回りました。しかし、邦貨換算ベースでは前年同期を大きく下回りました。利益面では、子会社の更生手続関連費用を計上したことから、営業損失となりました。

中国ワコールにつきましても、売上面では、百貨店が伸び悩み、他社ECサイトも前期の好調から一転、苦戦しています。また、中間層向けブランド『LA ROSABELLE（ラ・ロッサベル）』も、新規出店の凍結や不採算店舗を閉鎖したことから全体の売上は、前年同期を下回りました。利益面では、売上の減少と売上利益率の低下に加え、人件費の増加により営業利益は前年同期を大きく下回りました。

以上の結果、ワコール事業（海外）セグメント全体は、邦貨換算ベースにおいて売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

●売上高	257億19百万円	(前年同期比	7.4%減)
●営業利益	23億71百万円	(前年同期比	26.9%減)

c. ピーチ・ジョン事業

株式会社ピーチ・ジョンにつきましても、国内直営店は、既存店を中心に順調に推移し、また、他社ECサイトも大幅に伸長しました。しかしながら、通信販売は、サイトリニューアル後訪問者数は増加し、夏場から新規顧客も徐々に増加しているものの、既存顧客の減少と春先の苦戦が影響し、前年同期を大幅に下回りました。一方、海外子会社は香港の直営店が堅調だったことに加え、中国の売上も大幅に伸長しました。

以上の結果、ピーチ・ジョン事業セグメント全体は、売上高、営業利益ともに、前年同期を下回りました。

●売上高	57億33百万円	(前年同期比	1.2%減)
●営業利益	3億21百万円	(前年同期比	3.6%減)

d. その他

株式会社ルシアンにつきましても、主力のインナー事業部は前年同期並みに推移しましたが、マテリアル事業部やアート・ホビー事業部が苦戦した結果、ルシアン全体の売上は前年同期を下回りました。利益面については、為替の影響と併せて高収益商品の売上構成比が高まったことなどにより売上利益率が上昇し、前年同期の営業損失から大幅に改善しました。

株式会社七彩につきましては、レンタル事業については、新規受注獲得などにより既存取引先の店舗閉鎖分を補い、前年同期を維持しました。また、工事事業についても、インポートブランドの期間限定ショップや新規得意先の受注が増加し、売上が拡大しました。一方、物販事業については、前年の大型受注実績の反動により売上が大きく減少しました。これらの結果、全体の売上は前年同期を下回りました。利益面についても、工事事業の売上構成比が高くなったことで売上利益率が低下し、前年同期を大きく下回りました。

以上の結果、その他セグメント全体は、売上高は前年同期を下回りましたが、営業利益は前年同期を大幅に上回りました。

●売上高	93億45百万円	(前年同期比 2.9%減)
●営業利益	4億75百万円	(前年同期比313.0%増)

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債、株主資本等の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、たな卸資産や時価評価による投資の減少などにより、前連結会計年度末に比して89億36百万円減少し、2,839億18百万円となりました。

負債の部は、短期借入金や未払税金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して4億93百万円増加し、639億46百万円となりました。

株主資本は、為替換算調整勘定の減少や自己株式の増加などにより、前連結会計年度末に比して89億85百万円減少し、2,153億89百万円となりました。

以上の結果により、当第2四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して0.7%減少し、75.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して8億28百万円増加し、348億87百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益93億26百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、96億6百万円の収入（前年同期に比し18億25百万円の収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却収入があったものの、有形固定資産や無形固定資産の取得などにより、7億13百万円の支出（前年同期に比し30億14百万円の支出減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金は増加したものの、配当金の支払や自己株式の取得などにより、60億26百万円の支出（前年同期に比し29百万円の支出減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の利益については、在仏国子会社の更生手続関連費用や新京都ビルの一時的費用などが計画より縮小できたことに加え、販管費の発生を一部第3四半期以降に繰り越したことにより、業績予想を上回りました。

第3四半期以降の売上高については、国内事業は、業績予想に織り込んでいた消費税増税を控えての駆け込み需要が見込めないことに加え、海外事業についても引き続き為替の影響により、売上が押し下げられることから第2四半期までと同様、減少するものと見込まれます。

利益については、当第2四半期連結累計期間の業績をふまえ、為替の影響による売上利益率の改善などが期待されることから、通期では増加するものと見込まれます。

これらを勘案し、平成28年5月9日に発表しました連結業績予想を修正します。

●売上高	1,980億円	(計画比	2.5%減)
●営業利益	105億円	(計画比	5.0%増)
●税引前当期純利益	145億円	(計画比	増減なし)
●当社株主に帰属する当期純利益	110億円	(計画比	10.0%増)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	34,059	34,887	828
定期預金	2,131	2,394	263
有価証券	1,880	2,413	533
売掛債権	26,936	26,567	△ 369
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 2,229	△ 2,542	△ 313
たな卸資産	44,445	42,097	△ 2,348
繰延税金資産	3,832	3,896	64
その他の流動資産	5,797	3,945	△ 1,852
流動資産合計	116,851	113,657	△ 3,194
II. 有形固定資産			
土地	21,677	21,553	△ 124
建物及び構築物	65,056	71,296	6,240
機械装置及び器具備品等	17,552	17,066	△ 486
建設仮勘定	5,419	715	△ 4,704
	109,704	110,630	926
減価償却累計額	△ 55,766	△ 55,874	△ 108
有形固定資産合計	53,938	54,756	818
III. その他の資産			
関連会社投資	20,713	18,852	△ 1,861
投資	56,021	54,969	△ 1,052
のれん	17,911	15,317	△ 2,594
その他の無形固定資産	12,112	11,118	△ 994
前払年金費用	8,145	8,355	210
繰延税金資産	1,036	1,015	△ 21
その他	6,127	5,879	△ 248
その他の資産合計	122,065	115,505	△ 6,560
資産合計	292,854	283,918	△ 8,936

科 目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)	増減金額
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	11,759	12,579	820
買掛債務			
支払手形	1,431	1,466	35
買掛金	12,017	11,727	△ 290
未払金	6,106	5,398	△ 708
	19,554	18,591	△ 963
未払給料及び賞与	7,152	6,925	△ 227
未払税金	711	2,637	1,926
その他の流動負債	5,167	5,544	377
流動負債合計	44,343	46,276	1,933
II. 固定負債			
退職給付に係る負債	1,703	1,669	△ 34
繰延税金負債	15,588	14,541	△ 1,047
その他の固定負債	1,819	1,460	△ 359
固定負債合計	19,110	17,670	△ 1,440
負債合計	63,453	63,946	493
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,686	29,692	6
III. 利益剰余金	162,196	166,743	4,547
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	5,177	△ 5,244	△ 10,421
未実現有価証券評価損益	17,966	17,452	△ 514
年金債務調整勘定	△ 1,035	△ 1,129	△ 94
V. 自己株式	△ 2,876	△ 5,385	△ 2,509
株主資本合計	224,374	215,389	△ 8,985
VI. 非支配持分	5,027	4,583	△ 444
資本合計	229,401	219,972	△ 9,429
負債及び資本合計	292,854	283,918	△ 8,936

(2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	105,715	100.0	102,412	100.0	△ 3,303
II. 営業費用					
売上原価	49,031	46.4	47,951	46.8	△ 1,080
販売費及び一般管理費	47,008	44.4	46,574	45.5	△ 434
営業費用合計	96,039	90.8	94,525	92.3	△ 1,514
営業利益	9,676	9.2	7,887	7.7	△ 1,789
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	76		69		△ 7
支払利息	△ 39		△ 23		16
受取配当金	599		669		70
有価証券・投資売却 及び交換損益(純額)	90		84		△ 6
有価証券・投資評価損益(純額)	△ 0		△ 1		△ 1
固定資産売却益	—		3,770		3,770
その他の損益(純額)	244		△ 568		△ 812
その他の収益・費用合計	970	0.9	4,000	3.9	3,030
税引前四半期純利益	10,646	10.1	11,887	11.6	1,241
法人税等	3,655	3.5	3,440	3.4	△ 215
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	6,991	6.6	8,447	8.2	1,456
持分法による投資損益	690	0.7	879	0.9	189
四半期純利益	7,681	7.3	9,326	9.1	1,645
非支配持分帰属損益	△ 199	△ 0.2	△ 126	△ 0.1	73
当社株主に帰属する四半期純利益	7,482	7.1	9,200	9.0	1,718

(3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	7,681		9,326		1,645
II. その他の包括損益					
— 税効果調整後					
為替換算調整勘定	180		△ 10,847		△ 11,027
未実現有価証券評価損益	△ 1,273		△ 514		759
年金債務調整勘定	△ 320		△ 94		226
その他の包括損益 合計	△ 1,413		△ 11,455		△ 10,042
四半期包括損益	6,268		△ 2,129		△ 8,397
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 198		300		498
当社株主に帰属する四半期包括損益	6,070		△ 1,829		△ 7,899

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月30日)	(自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月30日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	7,681	9,326
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	2,353	2,368
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金(純額)	477	416
(3)繰延税金	1,250	△ 413
(4)固定資産除売却損益(純額)	48	△ 3,588
(5)有価証券・投資売却及び交換損益(純額)	△ 90	△ 84
(6)有価証券・投資評価損益(純額)	0	1
(7)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	46	△ 406
(8)資産及び負債の増減		
売掛債権の増加	△ 1,745	△ 739
たな卸資産の減少(△増加)	△ 628	178
その他の流動資産等の減少(△増加)	△ 253	1,509
買掛債務の減少	△ 991	△ 1,404
退職給付に係る負債の減少	△ 1,415	△ 326
その他の負債等の増加	978	2,396
(9)その他	70	372
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,781	9,606
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 1,739	△ 2,117
2. 定期預金の減少額	1,887	1,616
3. 有価証券の売却及び償還収入	1,004	50
4. 有価証券の取得	△ 534	-
5. 有形固定資産の売却収入	54	3,884
6. 有形固定資産の取得	△ 2,628	△ 3,234
7. 無形固定資産の取得	△ 767	△ 868
8. 投資の売却収入	237	343
9. 投資の取得	△ 255	△ 263
10. その他	△ 986	△ 124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,727	△ 713
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	2,961	1,437
2. 長期債務の返済	△ 4,582	△ 125
3. 自己株式の取得	△ 3	△ 2,546
4. 当社株主への配当金支払額	△ 4,225	△ 4,648
5. 非支配持分への配当金支払額	△ 206	△ 167
6. その他	-	23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,055	△ 6,026
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	53	△ 2,039
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 1,948	828
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	38,410	34,059
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	36,462	34,887

補足情報

現金支払額		
利息	41	23
法人税等	3,157	1,148
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	475	958
有価証券の取得価額	-	295

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、市場買付により自己株式2,300千株を、総額2,544百万円にて取得しました。この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己株式の残高は、前連結会計年度末に比して2,509百万円増加し、5,385百万円となりました。

(セグメント情報等)

① オペレーティング・セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	62,526	27,767	5,800	9,622	105,715	—	105,715
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	760	4,532	377	2,923	8,592	△ 8,592	—
計	63,286	32,299	6,177	12,545	114,307	△ 8,592	105,715
営業利益	5,986	3,242	333	115	9,676	—	9,676

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	61,615	25,719	5,733	9,345	102,412	—	102,412
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	560	4,888	504	2,920	8,872	△ 8,872	—
計	62,175	30,607	6,237	12,265	111,284	△ 8,872	102,412
営業利益	4,720	2,371	321	475	7,887	—	7,887

(注) 各事業の主な製品

ワコール事業(国内)	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他
ワコール事業(海外)	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット、その他繊維関連商品他
ピーチ・ジョン事業	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア)、アウターウェア、その他繊維関連商品他
その他	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品、マネキン人形、店舗設計・施工他

② 地域別情報

前第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	77,768	9,271	18,676	105,715
構成比	73.5%	8.8%	17.7%	100.0%
営業利益	6,372	1,152	2,152	9,676

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	76,512	9,990	15,910	102,412
構成比	74.7%	9.8%	15.5%	100.0%
営業利益	5,310	1,489	1,088	7,887

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 アジア・オセアニア: 東アジア、東南アジア及び西アジア諸国、オーストラリア
 欧米: 北米及びヨーロッパ諸国
3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(6) 販売の状況

製品の種類		前第2四半期 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日		当第2四半期 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
インナーウェア	ファンデーション ・ランジェリー	百万円 78,796	% 74.5	百万円 75,810	% 74.0	百万円 △ 2,986	% △ 3.8
	ナイトウェア	4,725	4.5	4,547	4.4	△ 178	△ 3.8
	リトルインナー	743	0.7	774	0.8	31	4.2
	計	84,264	79.7	81,131	79.2	△ 3,133	△ 3.7
アウターウェア ・スポーツウェア等		10,841	10.3	9,949	9.7	△ 892	△ 8.2
レッグニット		1,152	1.1	1,115	1.1	△ 37	△ 3.2
その他繊維製品 及び関連製品		3,744	3.5	4,727	4.6	983	26.3
その他		5,714	5.4	5,490	5.4	△ 224	△ 3.9
合計		105,715	100.0	102,412	100.0	△ 3,303	△ 3.1